

(仮称)

# 富山市スマートシティ推進ビジョン(素案)

令和4年8月3日

## < 目次 >

1. はじめに
  - ・なぜスマートシティ政策に取り組むのか
  - ・富山市が考えるスマートシティとは（富山市版スマートシティ）
  - ・市民ニーズに基づいたビジョン策定プロセス
  - ・本ビジョンの位置づけ
2. 基本理念
3. 目指す将来像
4. 本ビジョンの全体像
5. ありたいまちの姿
  - ・3つのまちづくりの目標
6. ありたい暮らし
  - ・9つの施策テーマ
7. 取組の方向性
  - ・27の取組の方向性
  - ・取組の方向性詳細
8. 重点領域
9. 推進体制
10. 推進方針
  - ・産学官民すべての関係者で共有したいこと
  - ・産学官民それぞれに期待したいこと
  - ・グランドルール
11. KPI
12. ロードマップ

### 参考

- ・策定体制
- ・有識者検討会議委員名簿
- ・策定プロセス
- ・用語集

# 1. はじめに

## ● なぜスマートシティ政策に取り組むのか

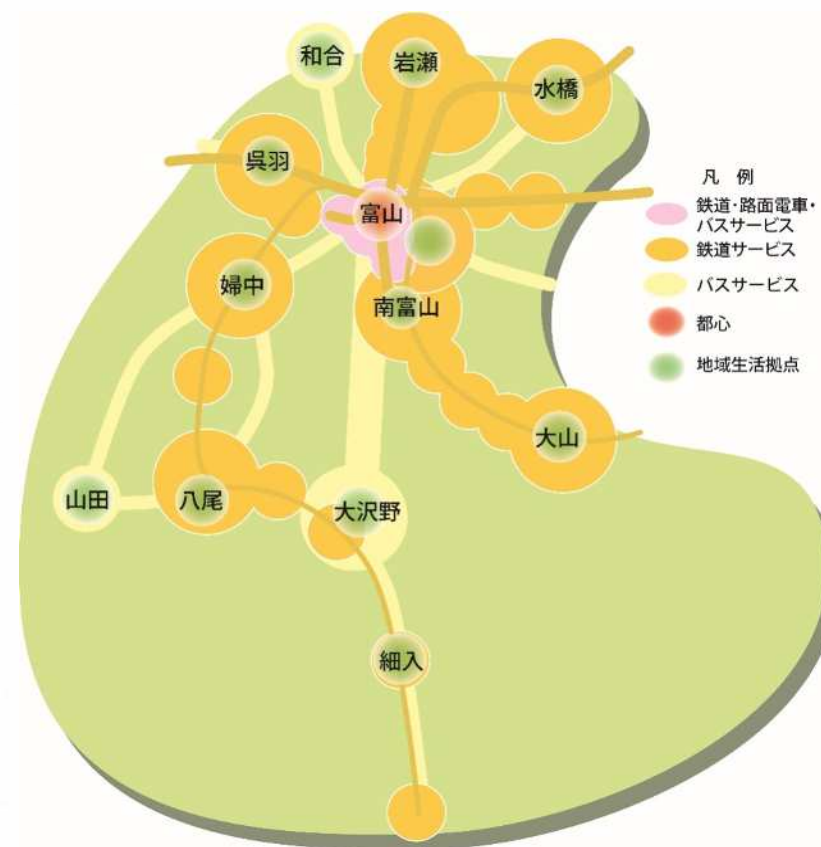
本市は、人口減少や超高齢社会の進行を見据え、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」に取り組んできました。

「コンパクトなまちづくり」は人口の転入超過や地価の上昇などの様々な成果を生み、国内外から高い評価を受ける一方、郊外や中山間地域に住む市民の中には政策の効果が実感しにくいとの声があるのも事実です。

さらに、近年は市民ニーズが多様化し、それに伴い行政課題も複雑化・高度化しており、行政だけで課題を解決していくことが困難になってきています。

このことから、本市は、近年目覚ましい発展をみせるデジタル技術を活用し「コンパクトなまちづくり」を“深化”させ、産学官民が連携して地域課題の解決を図るスマートシティ政策に取り組むこととしました。

### コンパクトなまちづくりの概念図



# 1. はじめに

## ● 富山市が考えるスマートシティとは（富山市版スマートシティ）

本市は、これまで進めてきたコンパクトシティ政策を継続し、さらに深め、**市民生活の質や利便性を向上**させるとともに、**地域特性に応じた市域全体の均衡ある発展を目指す**ことを「目的」に、その実現のための「手段」としてスマートシティ政策に取り組みます。

したがって、スマートシティ政策によって提供されるサービスは**市民の皆さまが求めるものであり、かつ、その恩恵を実感できるものである**ことが重要であると考えています。

このことから、本市では「**富山市版スマートシティ**」を明らかにするにあたり、国の「スマートシティガイドブック」なども参考にしながら、次の**3つの方向性**から検討することとしました。

### 「富山市版スマートシティ」検討の3つの方向性

#### (1) コンパクト&スマート

コンパクトシティ政策をスマートシティ政策で補完し、深化させる

#### (2) 市民(利用者)中心主義

サービス提供者(行政・企業)の目線ではなく、サービス利用者(市民)の目線で検討する

#### (3) ビジョン・課題フォーカス

「手段」としての技術やデータではなく「目的」としてのビジョン・課題にフォーカスする

# 1. はじめに

## ● 市民ニーズに基づいたビジョン策定プロセス

富山市版スマートシティの「目的」は、**市民生活の質と利便性の向上と地域特性に応じた市域全体の均衡ある発展**です。

市民の皆さまが向上させたい「市民生活の質」や「利便性」とは何か。  
市民の皆さまが求める「発展」とは何か。

この「問い」に対する答えが、本市がスマートシティ政策で達成すべき目標や成果であり、その答えを**市民の皆さまに直接問いかけ、とりまとめたもの**が、この「富山市スマートシティ推進ビジョン」です。



市内3ヶ所で計6回の市民ワークショップを開催

# 1. はじめに

## ● 本ビジョンの位置づけ

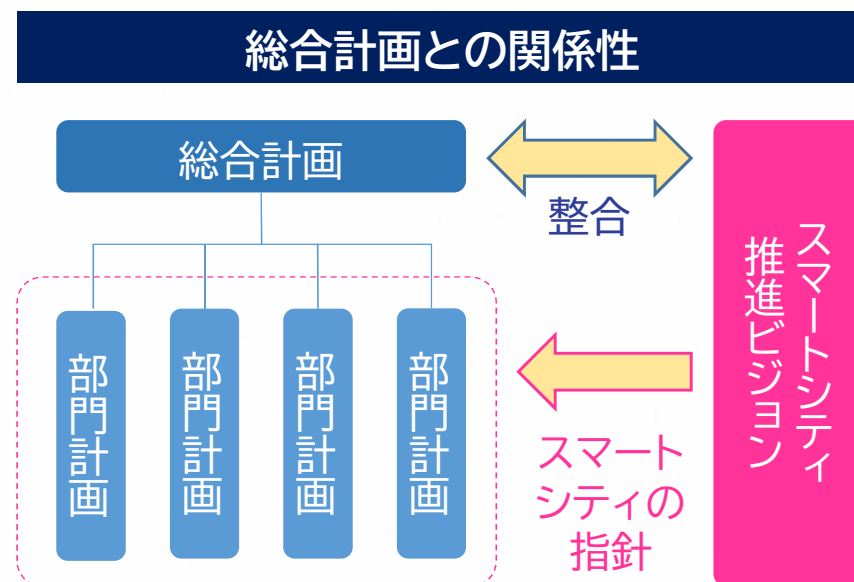
「富山市スマートシティ推進ビジョン」は、市の最上位計画である総合計画との整合を図りつつ、スマートシティ推進の観点から、すべての個別部門計画に対する総合的な指針となるものです。

また、スマートシティは行政だけで推進するものではなく、産学官民による共創が不可欠であることから、立場や視点が異なる産学官民がスマートシティの方向性を共有し行動するための指針でもあります。

本ビジョンは「富山市版スマートシティ」について、目指すべきまちの将来像を描き、その実現に向けた道筋を示すものです。

なお、本ビジョンが示す将来像は10年後（令和14年／2032年）を想定しています。

一方で、スマートシティを取り巻く環境は急速に変化しており、国のスマートシティ政策の方針や先端技術の動向等をふまえ、必要に応じて本ビジョンの内容も見直します。



## 2. 基本理念

ビジョン検討にあたり設定した「**富山市版スマートシティ検討の3つの方向性**」について、本市がスマートシティを推進するうえで極めて重要な視点であることから、本ビジョンにおける「**基本理念**」として位置づけます。

### (1)コンパクト&スマート

コンパクトシティ政策を“深化”するため、**スマートシティ政策でコンパクトシティ政策を補完**することで、市民生活の質や利便性の向上を図るとともに、地域特性に応じた市全体の均衡ある発展を目指す

### (2)市民(利用者)中心主義

サービスを供給する行政や企業が目線ではなく、**サービスを利用する市民が目線で取り組む**ことで、市民がデジタル化による恩恵を実感できるサービスの創出を目指す

### (3)ビジョン・課題フォーカス

スマートシティの「手段」としてのデジタル技術やデータではなく、「**目的**」である**ビジョン・課題にフォーカス**し、ビジョン実現や課題解決のためにデジタル技術やデータを利活用する

参考 「スマートシティガイドブック」よりスマートシティの3つの基本理念

- ・市民(利用者)中心主義
- ・ビジョン・課題フォーカス
- ・分野間・都市間連携の重視

(2021年4月:内閣府等)

# 3.目指す将来像

コンセプトワード

※検討中

将来像イメージ図

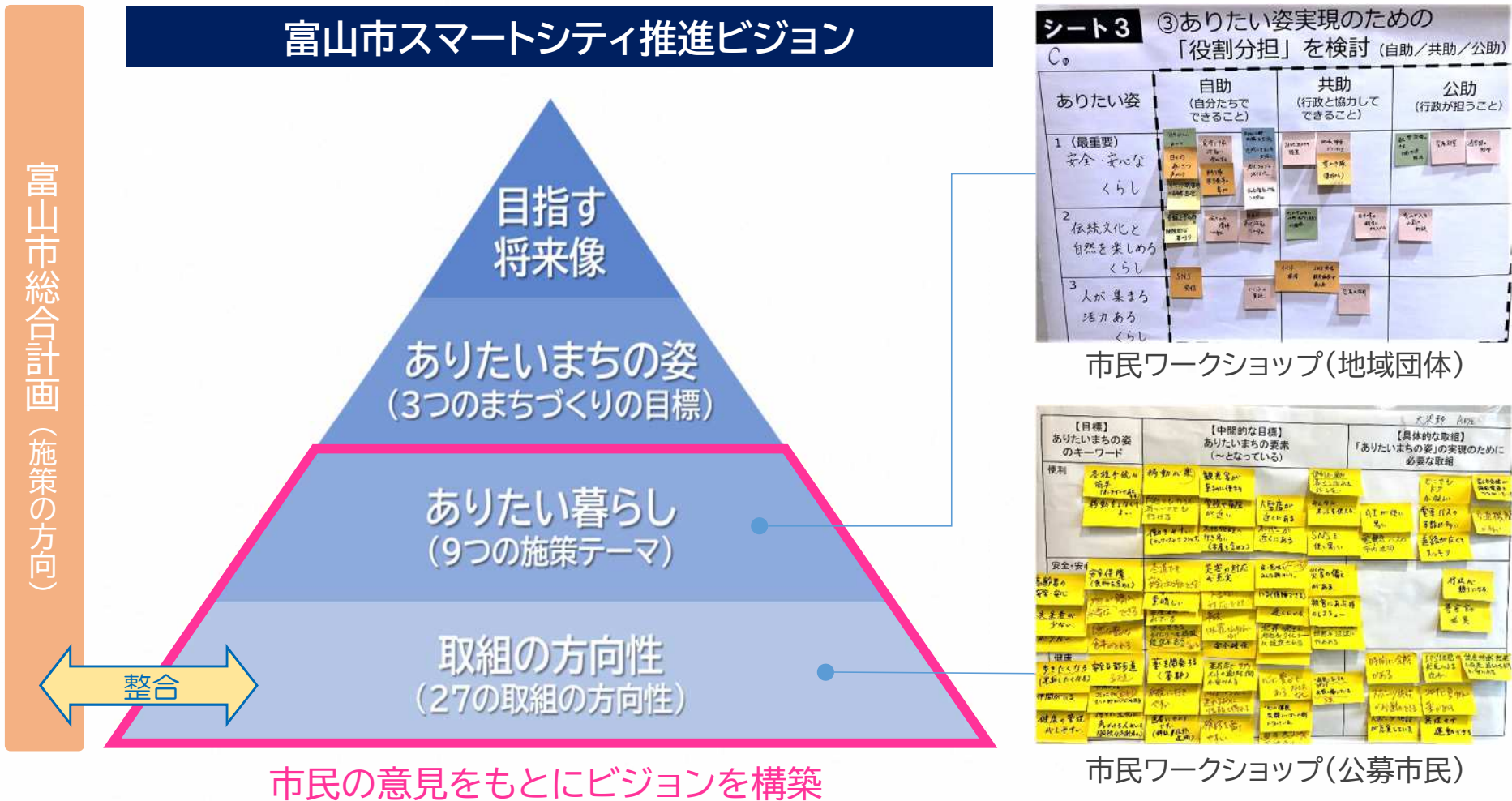
※検討中



# 4.本ビジョンの全体像



本ビジョンは、市民の皆さまの意見をもとに、「3つのまちづくりの目標」「9つの施策テーマ」「27の取組の方向性」によって目指す将来像を実現する構造とし、「取組の方向性」は総合計画の「施策の方向」と整合しています。



# 5.ありたいまちの姿



## ● 3つのまちづくりの目標

「ありたいまちの姿」は、本市がスマートシティ政策の推進によりコンパクトシティ政策の“深化”を図り、目指す将来像を実現するためのまちづくりの目標です。

### コンパクトシティ政策の“深化”



#### (1) 誰一人取り残されることなく便利で安心して暮らせるまち

中山間地域をはじめとする郊外部においても、子どもからお年寄りまでのすべての世代が不安や不便を感じることなく安心して暮らせるまちを目指します。

#### (2) 地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち

地域生活拠点が地域特性に応じて機能性や魅力を高めることで、その周辺に暮らす人々も誇りと豊かさを感じられるまちを目指します。

#### (3) 互いの地域を尊重し支えあう一体感のある持続可能なまち

環境問題への対応、防災など、未来志向と地域連携が不可欠な取組を実現し、全市的な一体感を醸成することで、次世代に託すことができる持続可能なまちを目指します。

# 6. ありたい暮らし



## ● 9つの施策テーマ

「ありたい暮らし」は、ありたいまちの姿(まちづくりの目標)を実現するために目指す理想の暮らしであり、本市のスマートシティ政策の**施策テーマ**となるものです。

ありたいまちの姿(まちづくりの目標)	ありたい暮らし(施策テーマ)
[1] 誰一人取り残されることなく 便利で安心して暮らせるまち	① 便利な暮らし ② 安心・安全で健康な暮らし
[2] 地域の宝を未来へつなぐ 地域づくり・人づくりのまち	③ 誇れるものがある暮らし ④ 心が豊かでワクワクできる暮らし ⑤ 子どもの笑顔があふれる暮らし ⑥ 若い世代の活気に満ちた暮らし
[3] 互いの地域を尊重し支えあう 一体感のある持続可能なまち	⑦ 人と人のつながりがある暮らし ⑧ 地域の魅力を分かちあい支えあえる暮らし ⑨ 産学官民の共創が生まれる暮らし

# 7. 取組の方向性



## ● 27の取組の方向性(1/3)

ありたい暮らし(施策テーマ)を実現するために必要な成果について、市民ニーズをもとに整理し、スマートシティ政策における取組の方向性とします。

ありたい暮らし(施策テーマ)	取組の方向性
① 便利な暮らし	1) 車がなくても移動できる 2) どこでも必要なモノ・コト・情報を入手できる 3) どこでも仕事や勉強ができる
② 安心・安全で健康な暮らし	4) どこでも医療・介護・健康サービスが受けられる 5) 事故や犯罪がなく治安が良い 6) 雪や災害・感染症に対する備えができている
③ 誇れるものがある暮らし	7) 伝統や文化が大切に継承されている 8) 美しく豊かな自然が維持されている 9) 地域の魅力が発信できている

# 7. 取組の方向性



## ● 27の取組の方向性(2/3)

ありたい暮らし(施策テーマ)を実現するために必要な成果について、市民ニーズをもとに整理し、スマートシティ政策における取組の方向性とします。

ありたい暮らし(施策テーマ)	取組の方向性
④ 心が豊かでワクワクできる暮らし	10) 個性や長所が尊重されている 11) 外出したくなる個性的・魅力的な場がある 12) 芸術文化・スポーツに親しんでいる
⑤ 子どもの笑顔があふれる暮らし	13) 子どもの多様な学び・交流・体験の場がある 14) 学校に行くのが楽しみになる 15) 地域ぐるみで子育てがサポートされている
⑥ 若い世代の活気に満ちた暮らし	16) 仕事が魅力的で働き方も多様である 17) 挑戦者が応援してもらえる 18) 若い世代の意見が尊重される

# 7. 取組の方向性



## ● 27の取組の方向性(3/3)

ありたい暮らし(施策テーマ)を実現するために必要な成果について、市民ニーズをもとに整理し、スマートシティ政策における取組の方向性とします。

ありたい暮らし(施策テーマ)	取組の方向性
⑦ 人と人のつながりがある暮らし	19) 困りごとを気軽に相談できる 20) 助けあい支えあいの輪が広がる 21) 安心して参加できるコミュニティがある
⑧ 地域の魅力を分かちあい支えあえる暮らし	22) つくる人とたべる(つかう)人がつながっている 23) 地域の魅力が新たな交流を生んでいる 24) あらゆる活動に次世代への配慮がある
⑨ 産学官民の共創が生まれる暮らし	25) 未来への学びと対話の機会がある 26) 新たなビジネスが生まれている 27) 市民が主体的にまちづくりに参画している

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(1) 誰一人取り残されることなく便利で安心してらせるまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>① 便利なくらし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>1) 車がなくても移動できる</p>	<p>車を持っていない人や運転できない人も公共交通機関や多様な交通手段を活用し、目的地に移動することができるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIオンデマンド交通(バス、タクシー等)</li> <li>・EVカーシェアリング</li> <li>・パーソナルモビリティ など</li> </ul>
<p>2) どこでも必要なモノ・コト・情報を入手できる</p>	<p>遠くまで移動しなくとも、自宅や近隣の公共施設等で買い物やサービス利用、行政手続きなどができるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・買物支援システム(商品購入、配達)</li> <li>・行政手続きのデジタル化・オンライン化</li> <li>・パーソナライズされた行政情報の配信 など</li> </ul>
<p>3) どこでも仕事や勉強ができる</p>	<p>時間や場所に縛られることなく、やりたい仕事や学びたいことが自由に選択できるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テレワーク支援</li> <li>・オンライン教育 など</li> </ul>

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(1) 誰一人取り残されことなく便利で安心してくらせるまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>② 安心・安全で健康な暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>4) どこでも医療・介護・健康サービスが受けられる</p>	<p>遠くまで移動しなくとも、自宅や近隣の公共施設等で医療・介護・健康サービスが受けられるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AIによる疾病予防、メンタルヘルスケア</li> <li>・健康増進、健康支援サービス など</li> </ul>
<p>5) 事故や犯罪がなく治安が良い</p>	<p>事故や犯罪を未然に防ぐための見守り体制を整えるとともに、平時から顔が分かり助け合える関係性が構築されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、高齢者の遠隔見守り</li> <li>・電子連絡システムによる救急時連携</li> <li>・AIによる交通管制、不審者発見 など</li> </ul>
<p>6) 雪や災害・感染症に対する備えができている</p>	<p>災害発生時の自助・共助・公助の役割が明確になっているとともに、必要な情報が必要な人に迅速に届き、適切な対処ができるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除排雪の効率化</li> <li>・電子連絡システムによる災害時連携</li> <li>・土砂災害モニタリング など</li> </ul>



# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(2) 地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>③ 誇れるものがある暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>7) 伝統や文化が大切に継承されている</p>	<p>まちの文化財や伝統工芸品、祭りなどの伝統・文化が地域の宝として住民にとっての誇りとなり、住民の手によって大切に守られ、継承されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化担い手育成プログラム</li> <li>・メタバース(語り部・文化資源の価値共有)</li> <li>・伝統文化映像アーカイブ など</li> </ul>
<p>8) 美しく豊かな自然が維持されている</p>	<p>森や里山、海、河川などの美しい自然が地域の宝として住民にとっての誇りとなり、住民の手によって自然景観や自然の恵みが大切に維持されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然映像アーカイブ</li> <li>・ドローンカメラによる里山・河川管理</li> <li>・スマート農業・林業・水産業 など</li> </ul>
<p>9) 地域の魅力が発信できている</p>	<p>住民一人ひとりが「地域の広報担当」として、自らが暮らす地域の魅力に気づき、それを地域の宝として誇りをもって外部に発信できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化・自然映像アーカイブ</li> <li>・YouTubeなどの配信講座</li> <li>・双方向デジタルサイネージ など</li> </ul>

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(2) 地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>④ 心が豊かでワクワクできる暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>10) 個性や長所が 尊重されている</p>	<p>他人と違うことが否定されることなく、多様性として受け入れられ、個性や長所として尊重されることで、市民一人ひとりがいきいきと生活できている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔操作ロボットによる就業支援</li> <li>・オンライン教育</li> <li>・メタバース(価値観の共有) など</li> </ul>
<p>11) 外出したくなる 個性的・魅力的な場 がある</p>	<p>都市部や郊外部などエリアを問わず、全市域内に個性的・魅力的な空間やイベント、コミュニティなどが数多く生まれ、世代を問わず外出することが楽しみになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内AIチャットボット</li> <li>・デジタル地域通貨(まち歩きポイント付与)</li> <li>・伝統文化・自然映像アーカイブ など</li> </ul>
<p>12) 芸術文化・ス ポーツに親しんで いる</p>	<p>芸術文化施設およびスポーツ施設が広く開放され、より使いやすくなることで、世代を問わず気軽に芸術文化・スポーツに親しむことができている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔配信(スポーツ・芸術コンテンツ)</li> <li>・施設予約システム</li> <li>・芸能文化デジタルアーカイブ など</li> </ul>

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(2) 地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>⑤ 子どもの笑顔があふれる暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>13) 子どもの多様な学び・交流・体験の場がある</p>	<p>地域の宝である子どもたちに対し、学校だけでなく、地域コミュニティや家庭も主体となって多様な学び・交流・体験の機会が提供され、地域全体で子どもの成長を見守る環境がとられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン教育</li> <li>・デジタルリテラシー教育</li> <li>・メタバース(語り部、地域の芸術家、スポーツ指導者) など</li> </ul>
<p>14) 学校に行くのが楽しみになる</p>	<p>地域の宝である子どもたちが学習への抵抗感やいじめ等に悩むことなく、日々学校に行くことが楽しみになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・GIGAスクール</li> <li>・メンタル状況の可視化によるいじめの早期発見・防止 など</li> </ul>
<p>15) 地域ぐるみで子育てがサポートされている</p>	<p>地域の宝である子どもたちを地域ぐるみで守り、育む環境があるだけでなく、若者が安心して子育てできるよう、親に対しても発育段階に応じた切れ目のないサポートが行われている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援AIチャットボット</li> <li>・IoTセンサーや防犯カメラ</li> <li>・メタバース(語り部、スポーツ指導者) など</li> </ul>

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(2) 地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>⑥ 若い世代の活気に満ちた暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>16) 仕事が魅力的で働き方も多様である</p>	<p>若者が働きたいと思える魅力的な仕事生まれ、若者の価値観やライフスタイルに合った多様な働き方が浸透することで、若者が定着し、地域が活性化している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移住・就業・事業継承マッチング</li> <li>・サテライトオフィス</li> <li>・ワーケーション環境整備 など</li> </ul>
<p>17) 挑戦者が応援してもらえる</p>	<p>若者が起業や企業の新規事業、地域社会の課題解決などに失敗を恐れず挑戦できる環境があり、それを応援する人が数多く生まれ、地域が活性化している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業や企業内改革支援プロジェクト</li> <li>・メタバース(異業種交流)</li> <li>・情報共有プラットフォームの構築 など</li> </ul>
<p>18) 若い世代の意見が尊重される</p>	<p>次世代を担う若者が、地域の宝として尊重され、意見を出しやすくなるとともに、社会経済活動にも積極的に参加するようになり、地域が活性化している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタバース(多世代交流)</li> <li>・市民共創プログラム など</li> </ul>

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(3) 互いの地域を尊重し支えあう一体感のある持続可能なまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>⑦ 人と人のつながりがある暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>19) 困りごとを気軽に相談できる</p>	<p>困りごとを相談したい人と、その相談を受けられる人がつながり、市民が地域の枠組みを越えて困りごとを気軽に相談できるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種相談チャットボット</li> <li>・オンライン相談窓口 など</li> </ul>
<p>20) 助けあい支えあいの輪が広がる</p>	<p>お年寄りや障がい者などの手助けを必要としている人と手助けができる人がつながり、市民が地域の枠組みを越えて助けあい支えあえるようになっている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル地域通貨(ボランティアポイントの付与) など</li> </ul>
<p>21) 安心して参加できるコミュニティがある</p>	<p>個人の興味や関心、相性などに応じて人と人がつながり、市民が地域の枠組みを越えて安心して参加できるコミュニティが生まれている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・メタバース</li> <li>・デジタル回覧板 など</li> </ul>

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(3) 互いの地域を尊重し支えあう一体感のある持続可能なまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>⑧ 地域の魅力を分かちあい支えあえる暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>22) つくる人と食 べる(つかう)人がつ ながっている</p>	<p>農林水産業が魅力ある産業として活性化するとともに、生産者と消費者がつながることで、環境価値や社会的価値が可視化され、地産地消が進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業、林業、水産</li> <li>・地域食品資源循環ソリューション など</li> </ul>
<p>23) 地域の魅力が 新たな交流を生ん でいる</p>	<p>観光が魅力ある産業として活性化するとともに、地域と地域がつながることで、マイクロツーリズムなどの新たな観光・地域間交流が進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光案内AIチャットボット</li> <li>・観光行動の可視化</li> <li>・ドローンを活用した体験型観光 など</li> </ul>
<p>24) あらゆる活動 に次世代への配慮 がある</p>	<p>環境負荷が可視化されて意思決定の基準として活用されるなど、あらゆる経済社会活動において次世代への配慮がなされている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの地産地消マネジメントシステム</li> <li>・地域食品資源循環ソリューション</li> <li>・EVカーシェアリングと将来的なVPP(仮想発電所)展開 など</li> </ul>

# 7. 取組の方向性



## ● 取組の方向性詳細

<p>ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)</p>	<p>(3) 互いの地域を尊重し支えあう一体感のある持続可能なまち</p>	
<p>ありたい暮らし (施策テーマ)</p>	<p>⑨ 産学官民の共創が生まれる暮らし</p>	
<p>取組の方向性</p>		<p>実現するための手段として想定される事項</p>
<p>25) 未来への学び と対話の機会がある</p>	<p>不確実性が高く、変化の激しい時代において、求められる知識・ノウハウを学ぶ機会や人的ネットワークを拡大する機会が充実している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未来のデジタル人材育成</li> <li>・多世代交流デジタルツール など</li> </ul>
<p>26) 新たなビジネス が生まれている</p>	<p>ビジネス実証・実装のための機会が充実しているとともに、多様な主体による未来志向の共創が進んでいる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インキュベーション施設の連携</li> <li>・産学官エコシステムの構築 など</li> </ul>
<p>27) 市民が主体的 にまちづくりに参画 している</p>	<p>まちの姿や課題が可視化され、市民がまちづくりに対する関心を高めるとともに、まちづくりに関われる機会が増えている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンデータ</li> <li>・シビックテック など</li> </ul>

# 8.重点領域



スマートシティ政策を推進するに当たっては、**身近なところで市民が変化や効果を実感できる**ことが極めて重要です。そうした観点から、「**取組の方向性**」のうち「**ありたいまちの姿**」(まちづくりの3つの目標)ごとに「**重点領域**」を定め、優先して取り組むこととします。

ありたいまちの姿 (まちづくりの目標)	ありたい暮らし (施策テーマ)	取組の方向性	重点領域の考え方
[1] 誰一人取り残されことなく便利で安心して暮らせるまち	① 便利な暮らし	<b>2) どこでも必要なモノ・コト・情報を入手できる</b> 中山間地域をはじめとする郊外部においても買い物等で不便を感じることがないようにデジタル技術によるサービス利用を促進する	特に中山間地域をはじめとする郊外部において市民が日常的に不便を感じている領域
[2] 地域の宝を未来へつなぐ地域づくり・人づくりのまち	⑤ 子どもの笑顔があふれる暮らし	<b>15) 地域ぐるみで子育てがサポートされている</b> 各地域生活拠点において地域ぐるみで子育て環境を充実させられるようデジタル技術を活用したサービス導入を促進する	地域生活拠点において必要性が高く、その機能向上で周辺に暮らす人々も豊かさを実感できる領域
[3] 互いの地域を尊重し支えあう一体感のある持続可能なまち	⑨ 産学官民の共創が生まれる暮らし	<b>25) 未来への学びと対話の機会がある</b> デジタル格差解消や高度デジタル人材の育成など、スマートシティ推進のための基盤となる学びと対話の機会づくりを促進する	地域ごとに限定することなく、未来志向により全市的に取り組む必要がある領域



# 9.推進体制

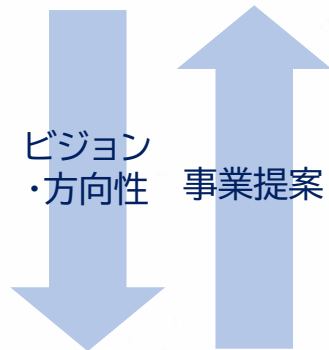


富山市スマートシティ推進協議会が事業提案を生む産学官連携プラットフォームおよび市に対する助言機関としての機能を担い、富山市スマートシティ庁内推進本部の意思決定に基づき組成するワーキンググループで各種サービスを検討する体制とします。

## 富山市スマートシティ庁内推進本部 ※スマートシティ政策における意思決定主体

本部長:市長 副本部長:副市長 推進部長:政策監 委員:部局長

事務局:SC推進課



事業化指示

進捗報告

## ワーキンググループ

リーダー:市担当部局

メンバー:市関係課、企業・団体

WG

WG

助言等

進捗報告

※事業化(事業者選定)後はWGを再編

## 富山市スマートシティ推進協議会 ※産学官連携プラットフォーム 兼 助言機関

会長:産学の有識者 会員:企業・団体・学術研究機関等

事務局:SC推進課

### 参考)一般的なスマートシティモデル

サービス

サービス

サービス

サービス

サービス

サービス

データ連携基盤/都市OS(FIWARE等)

# 10.推進方針



## ● 産学官民のすべての関係者で共有したいこと

スマートシティ政策は、産学官民の関係者が本ビジョンを共有したうえで、共通理解の下で進めていく必要があることから、「富山市版スマートシティ」における3つの推進方針を設定します。

### (1)データの利活用と意識醸成

政策(行政)、企業活動(企業)、豊かさ(市民)など様々な分野において、データによる「見える化」に取り組むことにより、意思決定の根拠や事業の進捗状況等を明確化し多様な方々の納得感を生み出すとともに、暮らしや経済における課題解決や価値の向上・創造を目指します。

また、データの収集・見える化・分析の意義についての意識を醸成します。

### (2)デジタル人材を増やす／デジタル人材になる

データサイエンティストに代表される高度なデータの利活用だけでなく、IoT(モノのインターネット)やAI(人工知能)、センサーなどのデジタル技術を業務や暮らしの中で上手に活用できる様々なデジタル人材の拡大を目指します。

### (3)デジタル格差の解消／情報リテラシー(理解度)の向上

情報通信技術を利用できる人と利用できない人との間に生じる格差(デジタルデバイド)を少なくし、安全で有意義なスマートフォンやインターネット等の使い方について、学び教え合います。

# 10.推進方針



## ● 産学官民それぞれに期待すること

スマートシティ政策は、産学官民の関係者が本ビジョンを共有したうえで、共通理解の下で進めていく必要があることから、「富山市版スマートシティ」における**役割期待**について明記します。

### 行政(官)

- ・**まずは行政が率先してデジタル化に取り組む**
- ・継続的な改善とDX推進
- ・データのオープン化と利活用
- ・産学官民のプラットフォーム(体制)づくり

### 民間事業者(産)

- ・デジタル化による生産性向上とDX推進
- ・ビジネスを通じた社会問題や地域課題の解決
- ・行政や学術機関等との共創

### 市民・地域団体(民)

- ・日常生活で各種デジタルサービスを積極的に使ってみる
- ・データの価値への理解
- ・市や地域への関心を高める(データ等を見てもみる)

### 学術機関・研究機関(学)

- ・学生や社会人へのデジタル技術・データ活用教育
- ・公開講座を通じた地域住民の情報リテラシー(理解度)向上
- ・行政や民間事業者等との共創

# 10.推進方針



## ● グランドルール

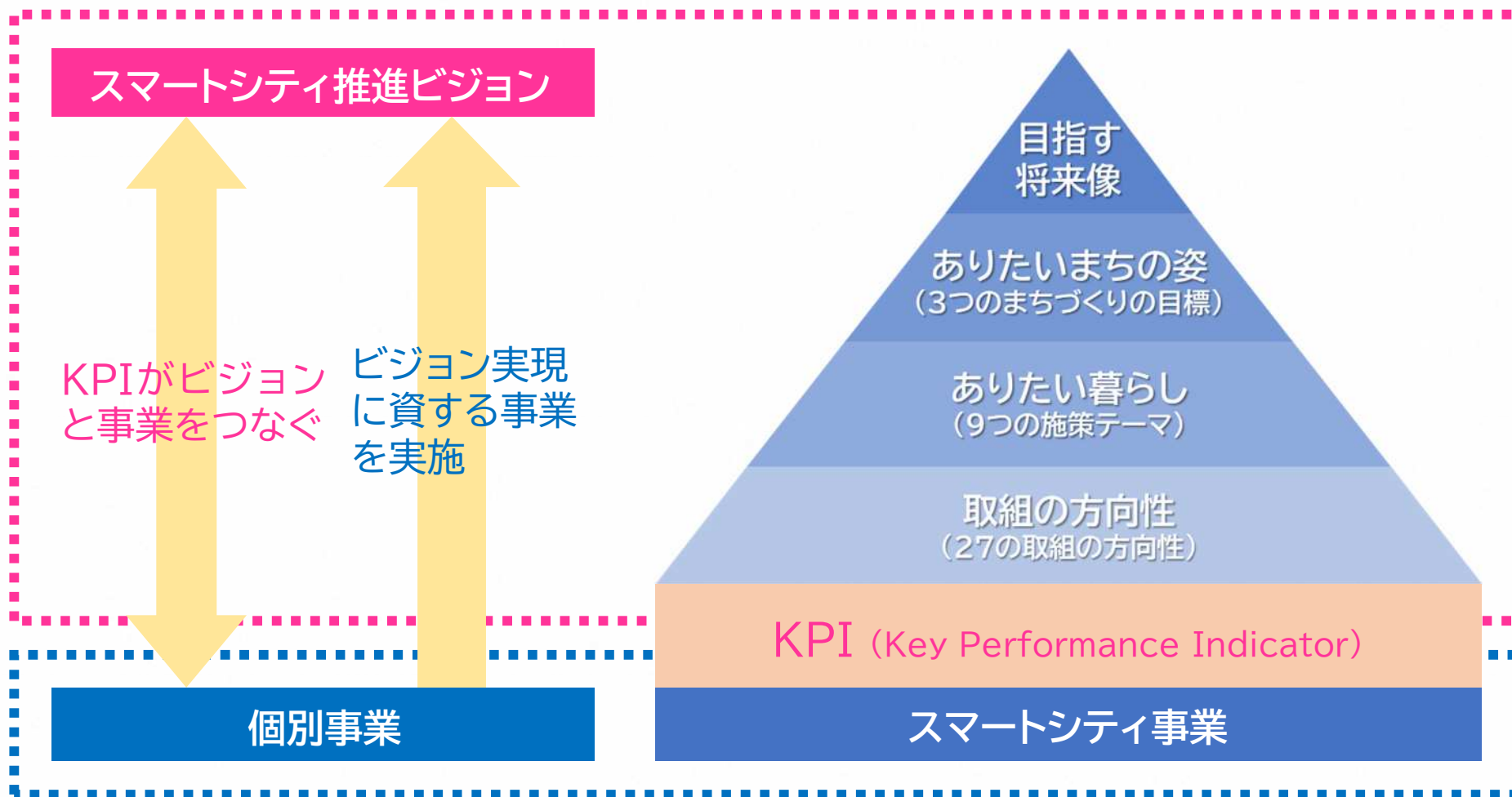
**グランドルール**(産学民官の様々な参加者が活発に協議しながら、共にスマートシティを推進するための共通認識として定める大枠のルール)を定め、「富山市版スマートシティ」を推進します。

ルールの目的	グランドルール
市民目線かつ今ある形に捉われないサービス設計	1. 市民目線で課題やニーズ把握に努め、市民ファーストなサービス設計 2. 産学官民の共創による多様かつ多面的な視点で、今ある形に捉われない「真に市民が求めるサービス」を設計
将来の社会構造変化に対応したサービスの創出	3. 小さく生み出し、迅速・柔軟に改善が可能な「アジャイル型」でのサービス創出 4. 失敗を次へと生かせるチャレンジングなサービスの創出
無駄を省き、向上し続けるサービス	5. 「なんとなく」サービスを継続せず、データに基づいてサービスの改善・廃止を常に検討
市民に安心頂けるデータ管理の徹底	6. データを収集する際は、取扱いルールを定め、事前に公開 7. 市民の「提供データの主権者」としての権利(同意・利用確認・破棄)の担保を徹底
データ連携による新たな価値創造	8. 適切に処理されたデータは地域の産学官で共有し、新たな価値を生み出す 9. 適切に処理されたデータが流通しやすい環境(データの標準化・都市OS)を整備
スマートシティに対応した人材の育成と情報弱者支援	10. 情報弱者も取り残さないための「デジタルデバインド」対策 11. 次世代のスマートシティを担う人材の育成

# 11.KPI



本ビジョンは、KPIがビジョンと各事業をつなぐ役割を果たすことで、ビジョン実現に向けて事業が推進される設計となっており、今後は国がスマートシティ事業の進捗管理で推奨するロジックモデルやLWCIも参考にしつつ、個別具体の事業計画について検討してまいります。



# 12.ロードマップ



本ビジョンが目指す将来像を実現するため、産学官民が**推進体制・推進方針(グランドルール)**に基づき、サービス設計・創出、データ管理・連携、人材育成・市民参加に取り組むにあたっての**ロードマップ**を示します。

	現状	5年後	10年後
サービス設計・創出	重点領域の設定、課題解決・価値創造サービスの検討	重点領域を中心とした課題解決・価値創造サービスの実証・一部実装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サービスの全市展開</li> <li>・サービスの横展開</li> </ul>
「アジャイル型」でサービスを提供し、トライ&エラーしながら完成度を向上			
データ管理・データ連携	行政データのオープン化	産学官民のデータの相互活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちの“見える化”の実現</li> <li>・EBPMの実現</li> <li>・スマートシティに資するエコシステム形成</li> </ul>
	既存都市OSの改善検討	都市OSの機能拡張	
産官学民の間でのデータのオープン化を進めながら、連携のための基盤を構築			
人材育成・情報弱者支援・市民参加	データサイエンス教育、デジタルデバイド対策等による産学官民の地域人材におけるデジタルリテラシー向上	シビックテックの展開による市民のまちづくりへの参画機会の拡大	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民のデジタルリテラシー向上</li> <li>・高度デジタル人材の輩出</li> <li>・市民共創の実現</li> </ul>

富山市版スマートシティの実現

# 参考1:策定体制

## ①富山市スマートシティ推進本部

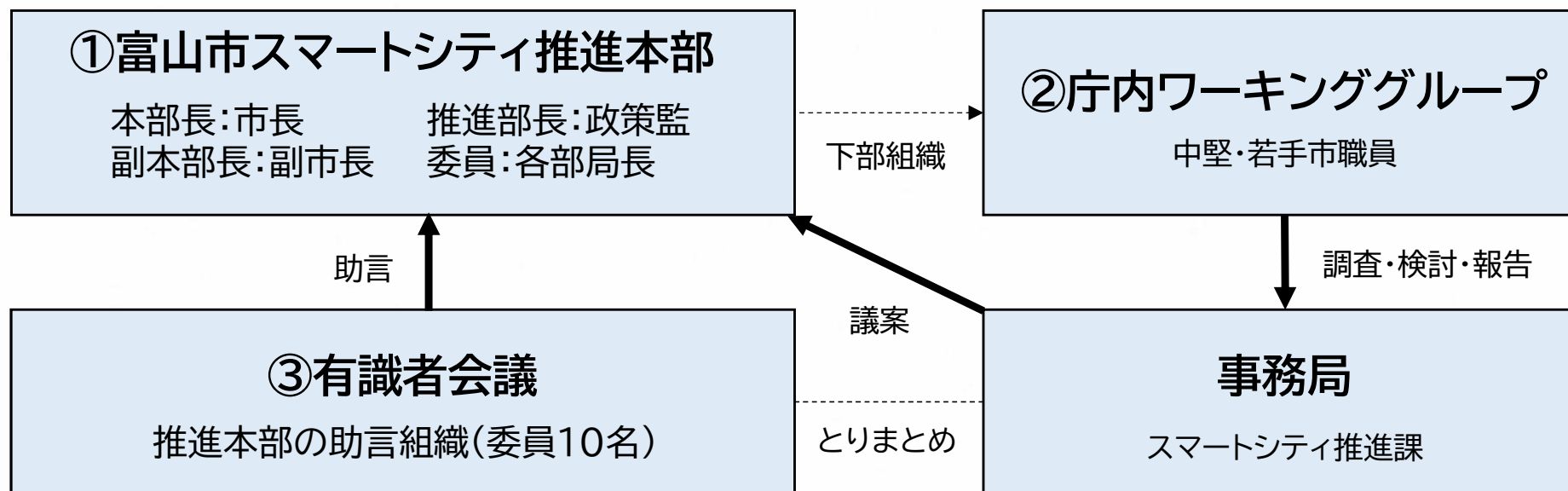
本市のスマートシティの推進に関する事項を所掌する庁内組織(本部長:市長)

## ②庁内ワーキンググループ

推進本部及び有識者会議に提示する議案等について調査・検討する推進本部の下部組織

## ③有識者会議(富山市スマートシティ推進ビジョン検討有識者会議)

スマートシティに関する専門知識や実務経験を有する者で構成する推進本部の助言組織



## 参考2:有識者会議委員

※敬称略

早稲田大学理工学術院 教授	森本 章倫
NECソリューションイノベータ株式会社 北陸支社シニアプロフェッショナル、 富山大学経済学部 教授	金山 義男
東京大学先端科学技術研究センター 教授	小泉 秀樹
株式会社笑農和 代表取締役	下村 豪徳
一般社団法人リンクデータ 代表理事、 デジタル庁 デジタル社会共通機能グループ データスペシャリスト	下山 紗代子
株式会社ママスキー 代表取締役	土肥 恵里奈
コード・フォー・トヤマシティ 代表、 株式会社EvoLiNQ 代表	富成 敬之
株式会社アイパック 代表取締役	東出 悦子
富山県知事政策局 デジタル化推進室 行政デジタル化・生産性向上課長	前田 秀一
株式会社インテック 行政システム事業本部 事業推進部DX推進ディレクター	安平 剛



# 参考3: 策定プロセス

	検討主体	検討プロセス	ビジョン項目
R3.6月	富山市スマートシティ庁内推進本部		ビジョンの位置づけ 検討にあたっての3つの方向性
R3.6~11月	庁内ワーキンググループ	調査・検討	
R3.11月	事務局(富山市未来戦略室)	先進地視察(会津若松市、前橋市) 有識者会議の議題設定	
R3.11月	第1回富山市スマートシティ検討有識者会議	ビジョン検討にあたっての助言等	
R4.1月	市民ワークショップ(地域団体) ※一部はR4.3月に延期して開催	ビジョン検討にあたっての市民の意見の反映	ありたい暮らし
R4.2月	事務局(富山市未来戦略室)	中間報告(案)の作成	ありたいまちの姿
R4.2月	第2回富山市スマートシティ検討有識者会議	中間報告(案)に対する意見等	
R4.5月	市民ワークショップ(公募市民)	ビジョン検討にあたっての市民の意見の反映	取組の方向性
R4.5~6月	企業・団体ヒアリング	ビジョン検討にあたっての企業・団体の意見の反映 ※市民ニーズ(ありたい暮らし・課題)に基づきヒアリング	取組の方向性
R4.7月	事務局(富山市スマートシティ推進課)	ビジョン(素案)の作成	重点領域 推進体制 推進方針 ロードマップ KPI
R4.8月	第3回富山市スマートシティ検討有識者会議	ビジョン(素案)に対する意見等	
R4.9月	富山市スマートシティ庁内推進本部		
R4.9月	パブリックコメント(市民)	ビジョン(案)に対する意見等	
R4年度中	(仮称)富山市スマートシティ推進ビジョン策定		

# 参考4:用語集

作成中